

|               |  |
|---------------|--|
| 第43回 駅西ブロック部会 |  |
| 開催時           | 令和6年10月7日（月）午後6時30分～8時00分  |
| 開催所           | 上十条ふれあい館 第1ホール   |
| 出席者           | <p><b>【部会役員】</b> 阿部部会長（駅西ブロック）</p> <p><b>【事務局】</b> 防災まちづくり担当課長：長久保<br/>         防災まちづくり担当課：勝田、浅野、草間<br/>         土木政策課長：杉戸<br/>         土木政策課 企画調整係：柳澤、物井<br/>         土木政策課 事業計画係：山上、吉田<br/>         事業用地担当課長：山本<br/>         事業用地担当課：生田目、木下<br/>         大規模区民施設整備担当課長：守屋<br/>         大規模区民施設整備担当課：岩崎、井上<br/>         株式会社都市計画同人：立野</p> <p><b>【再開発組合】</b> 十条駅西口地区市街地再開発組合：菊池</p>  |
| 参加者           | 15名（部会役員を除く）   |
| 議題等           | <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○北区における耐震化支援と十条地区のまちづくりについて</li> <li>○密集事業（住宅市街地総合整備事業）の進捗状況等</li> <li>○十条駅付近連続立体交差事業及び鉄道附属街路事業の進捗状況等について</li> <li>○東京都北区ジェイトエルの開設について</li> <li>○十条駅西口地区第一種市街地再開発事業の進捗状況について</li> </ul> <p><b>【ブロック部会の様子】</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> |

議事要旨

----- 駅西ブロック部会長あいさつ -----

皆さんこんばんは。大変お忙しい中ご参加いただきまして、ありがとうございます。話はちょっと違いますが、この土日、北区区民まつりがございまして、お手伝いいただいた方もこの中にいらっしゃいます。私も金土日、フルに動いていたため、ぐったりしておりますが、大変お疲れさまでした。それでは、第43回駅西ブロック部会を開催致します。本日の報告事項は5件でございます。最初の報告では、北区における耐震化支援と十条地区のまちづくりを予定しておりますので、是非お聞きたいと思っております。

○報告事項

---- 事務局より配布資料及びスライドに沿って、北区における耐震化支援と十条地区のまちづくりの報告があった。 ----

■質問事項

(参加者) 耐震化の話として、十条地区の地盤に関する卓越周期と建物被害の関係性について明らかにしてほしい。

(事務局) 卓越周期については、科学的な問題ではありますが、地盤の周期によって個々の建物の被害が特段大きく変わることはありません。地盤の周期を調査し、それに応じた全ての建物に反映してはどうかとご意見かと思いますが、個々に、全ての土地の周期を把握することも行われていませんし、現時点では対応が難しい状況です。

(参加者) マグニチュードの大小と震度の大小が噛み合わないのはなぜか。

(事務局) マグニチュードは発生した地震のエネルギー量を意味し、震源の位置や深さに係わらず、地震が発生したエネルギー量そのものを示しています。一方、震度とは、地表面での揺れの大きさを表しており、震源から地表面に至るまでの地盤の特性によって、地表面の揺れが減衰します。また、震源の位置に対して、地上の震度観測地点との位置関係、あるいは地震が発生したプレートと震度観測地点の位置関係によって、マグニチュードの大きさがそのまま震度の大小とはなりません。

(参加者) 新耐震基準とか現行の耐震基準とは、何に対して向き合っているのか。

(事務局) 地表面の揺れである震度に対する対応基準として示しているものです。

---- 事務局より配布資料及びスライドに沿って、密集事業(住宅市街地総合整備事業)の進捗状況等の報告があった。 ----

■質問事項

ご質問・ご意見等はありませんでした。

---- 事務局より配布資料及びスライドに沿って、十条駅付近連続立体交差事業及び鉄道付属街路事

業の進捗状況等の報告があった。----

■質問事項

ご質問・ご意見等はありませんでした。

----事務局より配布資料及びスライドに沿って、東京都北区ジェイトエルの開設等の報告があった。----

■質問事項

(参加者) 上十条図書館は、蔵書も多く、他の図書館から取り寄せもできるので気に入って、利用していたのですが、北区ジェイトエルが開設するとのことですが、蔵書の数が少ない。図書館には専門書等があるが、ジェイトエルには、雑誌や新聞程度のものしか置かれていないのではないかと思います。図書館の蔵書を請求した際に、対応できるようなシステムがあるのか。どのような運営を考えているかお聞かせください。

(事務局) ジェイトエルの蔵書については、開架する図書数は1万冊程度で、こちらに開架する図書は主に話題の図書などを手に取っていただくコンセプトとしています。図書館の図書の貸し出しについては、ご予約いただいて、受け取り、そして施設内のブックポストにお返ししていただくようになりますので、図書館の蔵書の貸し出しは可能です。

(参加者) 要求から貸し出しまでの時間は?

(事務局) その点については、所管に確認しなければ、正確にはお答えしかねます。

(参加者) ジェイトエルに置かれている図書自体を貸し出さないのでは、サービスの低下ではないのですか。新しい居心地の良い図書館になることはいいと思いますが、なぜ上十条図書館が閉館されるのか。子どもの権利として、文化と芸術に接するがある中で、経済問題に関わらず、その点が残念に思います。

----事務局より配布資料及びスライドに沿って、十条駅西口地区第一種市街地再開発事業の進捗状況の報告があった。----

■質問事項

(参加者) 「仏彫って魂入れず」といいますか、「にぎわいを奏でる」というのが色々な事業の目標に入っていますが、「にぎわいを奏でる」は、外から来たお客さん、例えば池袋とか新宿、東京とか、多少は住んでいる人たちもあるかもしれないが、外から来た人がにぎわいをつくっている訳です。集客力がなくなったら、新宿、東京はどのような街になるかを考えた時に、やはり、住んでいる人たちがにぎわいをつくるような街が本当の事業になるのではないかと。補助73号線や高架化、駅前再開発によって、生きづらくなっている人たちがいる。駅前再開発は中止してほしい。駅前再開発ビルの耐久年度が終わる際には、にぎわいを奏でるような建物となることを望んでいる。前回の議事録の4頁下段の質問事項7点について、後日連絡させていただくとあるが、文書でなくても良いかとの連絡があったが、是非文書でお願いしたい。ビル風については、この場で回答いただきたい。実際にビル風の影響で、近隣で被害があったので、対応していただきたい。町会

にビル風による被害が出てきた際の弁償が得られる仕組みをつくってほしいと要望した。また、自分たちで再開発ビルによる影響調査も依頼した。この問題の処理をお願いしたい。

(組合) 高層建築物が建つと、壁に風が当たって、従前に無かった風の被害が発生することは承知しております。そのため、防風効果のある植栽を設ける予定です。植栽ができていない今年の1・2月に、強風による被害が出たのご連絡を受け、再開発組合としてお話しさせていただき、被害拡大や第三者に対して丁寧な対応を行なっております。再開発ビルは今年の10月に完成いたしますが、公共施設整備のほうが後1年近くかかるため、少なくとも1年は組合活動が続きますので、何かあればご連絡いただければと思います。今年、植栽工事が一部完了し、5メートル程度の本木が植わっておりますが、成長するまでに時間を要することから、今後木の生育を見守っていただきたいと思っております。駅前に向した側につきましても、考えられる対策に対応していきたいと北区と相談しております。

(参加者) この地区は、風が南北に吹く。風がビルにぶつくと風は両側に分かれるので、回りへの影響から、1年だけでなく、こうした問題の対応先が必要だと思う。

----今回のブロック部会報告以外に関する事項----

■質問事項

(参加者) 再開発ビルのガラスについて、全部のガラスの飛散防止はしていないとのことでしたが、飛散防止対策を施した方が良いのではないかと。水害リスクとして、駅前の地下駐輪場は大丈夫なのか。こうした会と十条地区にぎわいづくり創出支援事業の商店街との関係を持った方が良いのではないかと。十条地区まちづくり協議会の幹事会に町会役員以外に個人的にまちづくり活動をしている方をオブザーバーとして出席できるようにしてはどうか。国土交通省が老朽化した建物の建替えを進めるために三項道路の指定を認めているので、敷地後退しなくとも建替えを進めるようにした方が良いのではないかと。

(事務局) ご質問のうち、にぎわいづくり準備会、及び三項道路の指定については、ご意見として承ります。まちづくり活動に参加している方が十条地区まちづくり協議会の幹事会にオブザーバーとして出席できるようとの件につきまして、幹事会は町会長など色々なメンバーで構成しているところですが、事務局としてこうした意見があったことを幹事会に伝えます。

(参加者) こうした会合は、あと何回ですか。

(事務局) 今年度は、今回の1回となります。

(参加者) 耐震化の制度を聞いて、色々な制度があることを多くの人が聞くことが大切だと思います。特定整備路線が必要なほど、防災上脆弱な地域ですので、こういう機会を年2回なり3回なりやらないと、意味がないように思われる。広く多くの方が向上する意味でも、2回ぐらいは開催してほしい。

以上